

第9号様式
広報用実績のまとめ

(団体名)	千屋牛追唄地元保存会 代表者 坂 口 義 弘	記録者 竹本 泉
所在地（市区町村名のみ）	新見市（千屋）	
(活動目的)	「千屋牛追唄」の保存継承活動と「千屋牛」並びにその「関連産業」の応援団として活動することが目的です。	
(団体の紹介)	現在、新見市立千屋小学校児童の有志11人と大人15人で活動しています。小学校2年生から83歳の坂口会長まで幅広い超異年齢集団で構成されています。「唄」「寸劇」「尺八」の3部会を充実させるために、アイデア・創意工夫を凝らし、何時も四苦八苦しながら取り組んでいます。	
(助成を受けての活動内容)	助成金10万円は授賞前の10月4日（金）にいただき、早速10月13日（日）に尺八を購入いたしました。購入した尺八は会員に渡し、毎日稽古に没頭しています。毎週水曜日の定期練習日には買った尺八を持ち込んで、プラスチック尺八との音の違いを確認しながら、皆で回しながら練習に取り組みました。 11月10日（日）は、「千屋牛追唄発表会」を開催し、今まで練習してきた「会員」と「子ども」の「唄」「寸劇」「尺八とギターとのコラボ演奏」の発表会を開催しました。その時に贈呈していただいた「尺八」を観客の皆様に尺八を披露・展示し、演奏を行いました。 また、11月17日（日）「千屋健康まつり」には、演芸発表会の場で「千屋牛追唄地元保存会」が出演し、マルセンスポーツ・文化振興財団から贈呈を受けた尺八で演奏し、観客の皆様に説明し、ご披露いたしました。 今後も、「練習」や「全国大会」等で尺八をフル活用していきます。	
(助成を受けての成果)	今まで、プラスチック尺八での演奏が主であったので、本物の尺八が演奏に加わり、演奏の音や唄、出演等に重みが出てきたので感謝しています。 観客の満足度も上昇し、今後の活動に期待感が高まってきたと思います。 また、会員が手にして練習するときの本気度が上がり、会員内の練習意欲を高めることができた。特に、高音や澄み切った美しい音が、段違いです。	
(今後の活動の課題点)	○尺八奏者の資質向上について、1本から6本までの6種類の尺八が自由自在に演奏でき、30人くらいは平気で演奏できる技能を身につけたい。 ○全国大会の開催は、上級者の順位をつける大会ではなく、上手下手なしに一般の方の個性とパーフォーマンスを楽しむような大会を皆で工夫したい。 ○初心者でも楽に唄えるよう、唄に合わせて同時に尺八を奏で、ギターやキーボード等の楽器をコラボして、大衆に親しまれ、身近な民謡にしたい。 ○千屋公民館を会場にした全国大会であり、焼きそばやたこ焼きではなく、千屋の特産品（千屋牛肉、餅米製品、山菜等）の販売で賑わい、地域が生業として成り立つような「千屋牛追唄全国大会」を創意工夫したい。	
(問い合わせ先・連絡先等)	新見市千屋実1435番地7 新見市千屋公民館 0867-77-9001 事務局 竹本 泉 090-8998-3040	

千屋牛追唄地元保存会【活動風景】

